

令和8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床神経学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 火曜4限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	田中敬子	実務経験と その関連資格	(旧)大阪厚生年金病院、ベルランド病院で、言語聴覚士として失語症等に対して臨床を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
神経疾患の症候について専門的知識を得て、言語聴覚障害について理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「病気がみえる7脳・神経(株式会社メディックメディア)第2版」を教材とし、 「言語聴覚士テキスト(医歯薬出版株式会社)第4版」を参考図書とする。						
《授業外における学習方法》						
テーマ毎に小テストを行うので、該当箇所を復習することが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料の穴埋めを確実にを行い、更に蛍光ペンなどを使いポイントがわかりやすいよう工夫すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	本科目の学習の進め方、脳血管障害(全般)について理解し説明できる。	配布プリント	該当箇所を予習する	
		各コマにおける授業予定	「病気がみえる7」68～72頁について説明します。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害(虚血性)について理解し説明できる。	同上	前回内容を復習する	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-1(121～122頁)について説明します。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害(出血性)について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-2(122頁)について説明します。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の治療、水頭症について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-2(121～122頁)、及び-7(130頁)について説明します。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	変性疾患(大脳基底核)について理解し説明できる。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-5(125～126頁)について説明します。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 変性疾患(運動ニューロン)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-5(127頁)について説明します。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 変性疾患(脊髄・小脳)について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-5(127～128頁)について説明します。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 筋疾患について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-10(131～132頁)について説明します。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 変性疾患による認知症について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-6(128～129頁)について説明します。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 変性疾患以外による認知症について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-6(129頁)について説明します。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 脱髄疾患、末梢神経障害について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-8(130～131頁)について説明します。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 頭部外傷、脳腫瘍について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-7(123～124頁)について説明します。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳の感染症、頭痛について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 4章各論-4(124～125頁)、及び-12(133頁)について説明します。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 神経症候学(神経学的診察)について説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 3章(118～121頁)、について説明します。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 神経学的検査の概要について理解し説明できる。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	「言語聴覚士テキスト」臨床神経学 2章(117～119頁)、について説明します。		